

今をときめく まちのあの人に 会いに行く vol. 4

佐々木 玲子さん

海田町出身／聖火ランナー

人生の節目で支えてくれた 私にとって大切なスポーツ

私 がスポーツを始めたのは、幼稚園の頃。家族全員で参加した海田町健康マラソン大会がきっかけです。当時のことはよく覚えていないけれど、1kmのコースを完走し、満足していたと母から聞いています。もともと体を動かすのが好きで、その後は兄の影響もあり空手を始めました。最初は海田小学校の体育館で行われていた稽古に、のちに先生の道場にも通うようになり、小学生の間に黒帯を取得しました。稽古に人一倍打ち込んだのは、空手が好きということもありますが、母が病気になったから。私が懸命に道場に通い、上達していく姿は、弱っていた母を思いのほか元気づけました。「絶対に全国大会に出場するから、お母さんも必ず病気を治して」。当時、私が母と約束した言葉です。その思いは大きな原動力となり、初めて全国大会に出場した小学校2年生から、卒業まで欠かさずに目標を達成。そんな私の姿が励みになってか、母も数度の手術を乗り越え、無事病に打ち勝つことができました。入院時は私も心が不安定になり、一時は保健室登校のような状態になったことも。けれど、そんな時でも稽古は休むことなく通っていました。空手という、根っから夢中になれるものが、心の支えになっていたんだと思います。

海田町にゆかりのある人を毎月ピックアップし、現在の活動や仕事から、海田町への思いまで深掘りしていきます。

8月号では、東京オリンピック2020で聖火ランナーを務めた佐々木玲子さん取材しました。聖火ランナーを志望した理由や点火セレモニーの様子、海田町での思い出などお話しいただきました。



佐々木 玲子さん

Profile

ささき・れいこ／海田南小学校、海田中学校、広島国際学院高校卒業。現在は広島リゾート&スポーツ専門学校にて、スポーツ業界の第一線で活躍できる人材を目指す。三歳違いの兄の影響で始めた空手や陸上で好成績を残し、東京オリンピック2020の海田町聖火ランナーに選出。